



八雲町長

岩 いわ
村 むら
克 かつ
詔 のり

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政に對しまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、令和6年の元日に最大で震度7の揺れを観測した能登半島地震の被災地では、地震からの復旧・復興に向けて着実に歩みを進めている最中、9月に発生した豪雨災害により、大変厳しい状況の中で多くの方が避難生活を余儀なくされております。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く平穏な日常を取り戻せるよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、1924年にこの八雲の地から北海道第1号の木彫り熊が誕生して100周年を迎えたことから、年間を通じてさまざまな記念事業や協賛事業が開催されたほか、記念切手の販売やテレビ放送、インターネット配信などにより木彫り熊の魅力が町内外に発信され、多くの方々

に「北海道木彫り熊発祥の地八雲町」を知ってもらうことができたと感じております。引き続き、八雲町の魅力を発信する取り組みを進めてまいります。

今年、新生八雲町が誕生して20周年を迎える記念すべき年です。日本海を持つ旧熊石町と太平洋を持つ旧八雲町が一つとなり、日本で唯一、二つの海を持つ八雲町は、町民皆さまのお力添えのもと、着実に20年間の歩みを刻んでまいりました。このことに深く感謝申し上げます。

現在、新年度へ向けて予算編成を進めているところではございますが、今後ともさまざまな行政課題の解決とともに、持続可能なまちづくりを推進し、次の10年へ向けた力強い一歩を踏み出すため、職員共々全力を尽くしてまいりますので、引き続き格別なるお力添えをいただきますようお願い申し上げますとともに、この記念すべき20周年の年が皆さまにとりまして、輝かしい希望に満ちた1年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



八雲町議会議員

千 ち
葉 は
隆 たかし

輝かしい新春を迎え、町議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまには、平素より町議会に對し温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深く感謝申し上げます。

令和6年元日に発生した能登半島地震や9月の豪雨災害により、石川県を中心とした甚大な被害もたらされました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、地域の絆を大切に、一日でも早く元の生活に戻れるようお祈り申し上げます。

近年、少子高齢化問題が一層深刻さを増し、人口減少や少子高齢化という人口構造の変化が税収の伸び悩みや社会保障費の増加をもたらしています。加えて、当町においては貴重な自主財源であるふるさと納税が減少する見通しであり、財政試算に多大な影響を及ぼすことが懸念されます。このような状況を踏まえ、新役場庁舎の整備事業や公共施設の老朽化対策、防災・減災対策、自治体におけるDX推進、公立病院経営問題など、様々な課題に對していく

ことが求められています。議会としては、今後の財政運営について慎重に検討し、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

議会活動においては、二海サーモンプロジェクトに関する特別委員会の調査が12月に終了し、その報告書が提出されました。養殖事業は、ふ化・種苗生産、海面養殖、加工販売の各分野が連携し、二海サーモンのブランド価値を高めるための努力が必要です。このプロジェクトが町の産業としてしっかり根付くよう、推進を図ることが重要であり、今後の進捗を見守るとともに、必要な対策を町へ働きかけてまいります。

今年10月には町議会議員の改選があり、任期最後の年となります。議会としても、町民の皆さまと行政の架け橋となり、「八雲発！自然と人を未来へつなぐ」という将来像を目指して、誠心誠意尽くしてまいりますので、引き続きのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。結びに、八雲町の更なる発展と町民の皆さまのご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。